

Interface

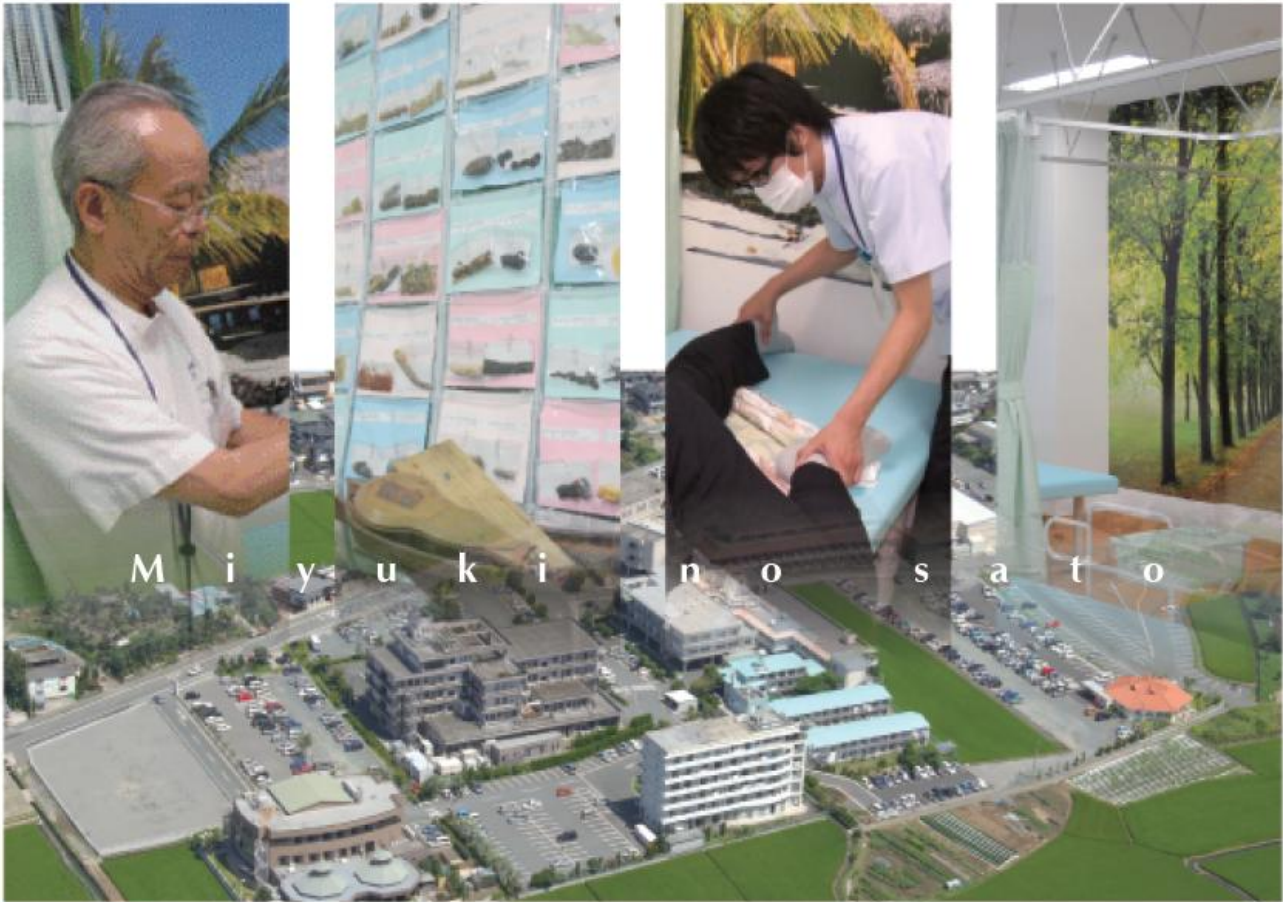
MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2010.
Summer
Vol.11



●特集

統合医療の観点で、
心身トータルでの心地よい医療を
提供する鍼灸診療室

●健康と食のまつり 2

●ドクターズ コラム ●短期集中連載「リハビリ」

●和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定

●ニュースリリース ●担当医表

健康・福祉21



みゆきの里グループ

- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ピオサルーテ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長
富島 三貴
Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第11号をお届けいたします。

今回の特集は「鍼灸治療室」です。御幸病院ではかねてより、西洋医学と、東洋医学をはじめとする代替医療の長所を併せた、統合医療の実践に取り組んでおります。その方針のもと、平成14年7月より王研究員による漢方相談を外来にて開始し、平成17年には長尾和治名誉院長による鍼灸外来をスタート。平成19年には鍼灸治療室を外来部門に設け、癒しの環境を整えました。

現在、長尾名誉院長は週に3回、鍼灸による診療と漢方薬の処方、操体法の実施等を行っています。慢性期の疾患や体質改善に向いていると言われる鍼灸・漢方ですが、その様々な効果に患者様が遠方からもいらっしゃいます。

また今号より短期集中企画として、御幸病院リハビリ室の記事を掲載いたします。今号は回復期リハビリテーション病棟でのリハビリテーションについてです。御幸病院の鍼灸治療室及びリハビリテーション室について、その診療や取組みの一部をご紹介します。

統合医療の観点で、心身トータルでの心地よい医療を提供する鍼灸診療室

心身ともに癒される 安らぎの医療スタイル

初期医療からターミナルケアまでカバーし、的確で明確な各種医療サービスにおいて定評のある御幸病院。医療を多角的に捉え、統合医療にも早くから力を注いでいます。統合医療と一口にいても、東洋医学や民



鍼灸診療室を担当する長尾和治名誉院長

間療法、代替療法などその裾野は大変広いものです。御幸病院の鍼灸診療室はそんな統合医療をベースに、患者様お一人おひとりに合わせた優しい医療を提供。心地よさや癒しといったソフト面でのサポートもしています。「いろいろな病院を回られて、近代医療だけで満足できなくて来られる患者様も多いんですよ」と鍼灸診療室担当で当院の名誉院長・長尾和治先生は言います。院内は代替医療であるアロマセラピーの香りで満たされ、さらに鍼灸診療室では、患者様に少しでもリラックスしていただけるようにと、壁にはラベンダー畑や南国のリゾートなどの心安らぐ風景が広がっています。「まずは緊張をとってあげて、心身トータルで診ることが大切」なんだそう。長尾先生との和やかな面談も、おそらく患者様にとっては大切な癒しのひと時。じっくりと症状を聞いてもらい、リラックスできる環境の中での施術は、さらなる効果が期待できるに違いありません。

東洋と西洋医療の融合で 全身に効果的な働きかけ

「ツボというのはここと見込んだところ、狙う場所・灸点といった意味があります。中国伝統医学では、気と血と津液(しんえき)が体内を滞りなく流れると健康とされる。気血や津液は体内に張り巡らされた経脈を流れます。その“体表面の路線の駅”であるツボを刺激す

M i y u k i n o s a t o



明るい雰囲気の治療室



薬研と計りや生薬の見本



実際の鍼治療の様子

御幸病院鍼灸治療室からのご挨拶

御幸病院 名誉院長
長尾 和治

ると気血の流れが良くなり、対応する器官や臓器の巡りが良くなって症状改善が期待されます。運動器以外に、内科的治療にも有効です」と長尾先生。例えば顔面の三叉神経痛には足の甲、風邪や喘息なども対応する3か所ほどへの刺激が効果的だそう。

「例えば乳腺炎の場合は必要に応じて抗生物質や鎮痛剤も処方しますし、時には切開で膿を出すこともあります。漢方薬と鍼治療を併用してより効果的な治療ができます。」長年外科医として多くの患者様を担当してきた長尾先生だからこそ、東洋・西洋医療を合わせた多角的な治療が受けられるのも、鍼灸診療室の大きなメリットです。

気軽に伝統医療に触れ さらに広がる治療の可能性

「現在、鍼灸は保険治療適応外ですが、本来は中国で2～3千年の歴史的裏打ちのある医療なんです」と長尾先生。他に運動療法として操体法や、吸圧器を使った吸玉(カッピング)療法、低温で子どもでも痛くないという電気灸針、ツゲの櫛でのマッサージなども広く取り入れています。

「痛い怖いと思わずに、まずは健康相談のつもりで訪れて、多くの方に統合医療の良さを知ってほしいですね。綾短歌会会長の松下様にも“手術より 治療なかりしを 神の手の鍼に賦活の吾は起ち歩く”と、ここでの治療の喜びを詠んでいただきました」。患者様の生の声に、代替医療の明るい未来が見えるようです。

御幸病院で鍼灸と漢方の診療を始めてから、今年で6年目になります。最初は週2回の診察でしたが、現在では月曜日の午前、火曜日の午後、木曜日の午前午後と、週3日4コマの診療を行っております。この間、平成18年1月には御幸病院の名誉院長職を拝命し、翌19年1月には外来に鍼灸治療室が完成いたしました。以来、この落ち着いた雰囲気の治療室で、患者様に鍼灸の診療と漢方薬の処方を行っています。

そもそも、御幸病院はその最初期から、「予防」に重きを置いた病院であります。今から20数年前、初代御幸病院名誉院長に就任された東陽一郎先生(熊大第二外科・二代目教授)や、その後を継いで名誉院長になられた蟻田重雄先生(元熊本県衛生部長)は、富島会長に「これからの病院は病気を治すだけでなく、予防もやらねばならない」とおっしゃったと聞いております。また、東先生は「患者に優しい医療」の重要性も説かれたそうです。

現在、御幸病院とみゆきの里が取り組んでおります統合医療は、この「予防」と「患者に優しい医療」に適していると言えます。西洋医学と、東洋医学をはじめとする各種伝統療法や新しい療法(アロマセラピー等)を統合する統合医療は、西洋医学の得意な対症療法のみならず、体質を改善し病気にかけにくくすることも医療行為と捉えています。そしてこの「未病を治す」という、「病気になる前に対処する」医療は、鍼灸や漢方の得意とするところでもあります。

今後もこの鍼灸治療室が、御幸病院とみゆきの里の統合医療の一翼を担っていけるよう、スタッフともども頑張っていきたいと思っております。どうか御幸病院の鍼灸治療室をよろしく願っています。

統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問
老人保健施設ばたん園施設長
江頭 洋祐

※受療ご希望の際は予め
電話で予約をお願いします。
090-4358-1225

リフレクソロジー(足裏マッサージ療法)のすすめ

この名前の由来はリフレックス(reflex:反射)ロジー(logy:学)、つまり反射学ということになります。足裏には全身の臓器や器官が反射投影されているという理論に基づいて、足裏をくまなく指で刺激することでそれが間接的に全身に波及して、関連諸器官を活性化し、心身のリラクセスと健康の維持・増進をはかるという治療法です。

この療法の歴史は古く、古代エジプトの壁画やインドの仏蹟にもその画像が残っているそうです。近代リフレクソロジーの歴史は20世紀初頭に米国のJ・イングハム女史がW・フィツジェラルド博士のゾーン理論に基づいて確立したもので、その後欧州各国や台湾に伝わって応用が広がったようです。

理論的には足裏を各反射区として分別し、左足の先端の親指の方から脳、第2・3趾が眼、第4・5趾が耳、中央から内側後方は腎臓～尿路、中央内側が胃や腸、踵に近い後方が性腺～性機能とされています。興味あることに肝臓、胆嚢は右足の前方区、心臓・脾臓は左足の前方区が反射区とされ各々左右の違いがあります。

「みゆきの里」の和楽の温泉入り口には台湾系の若石リフレクソロジー療法師の堀田桂子氏のコーナーがあり、15分1000円で受療することができます。私も先日30分ほど足裏リフレを受けてみましたが、終わった後は体がポカポカし少し汗が出て気分が爽快になりました。皆さんもストレスで心身の疲れが溜まった時にきっと効くと思いますので、試してみられてはいかがでしょうか。

健康と食のまつり開催



去る6月5日、「みゆきの里 健康と食のまつり」が開催されました。このイベントはナイチンゲール記念日に行われていた「看介護の日」から始まり、その後「みゆきの里健康フェア」へ、昨年より「健康と食のまつり」と名称を変更し、熊本市の食育月間である6月に開催されるようになりました。第1回の看介護の日から数えて、今年で15回目の開催となります。

好天に恵まれた当日の朝8時30分、医療法人博光会理事長・富島三貴の開会の挨拶で、健康と食のまつりの幕が開きました。開会式にはご多忙の中、衆参両議院の議員の皆様や地域の代表者の方々をご来賓にお迎えし、ご挨拶と祝辞を賜りました。開会式が終わるとすぐ、「田園WARA-KU健康ウォーキング大会」のスタートです。会場を出発したおよそ300名の方々が、みゆきの里周辺の田園地帯およそ4.2kmをウォーキングされました。

メイン会場となった和楽前駐車場のステージでは、次々と演目が披露されました。熊本市消防音楽隊の演奏、熊本中央高校・熊本農業高校合同のマーチング演奏、菊池養生園名誉園長の竹熊宜孝先生と御幸病院名誉院長・長尾和治先生の対談「健康トークショー」、阿蘇を中心に活動するデュオ・ピエントのコンサートなどが目白押し。また、午後からは地域連携フェスティバルと題し、御幸小学校器楽部の演奏、ミュキハッピーレクダンスの踊り、瑞鳳館織田道場少年空手道の演武、バレエスペースフューチャー、RISAラテン系ダンシングスクールなど、地域で

活動されている皆様がそれぞれ日頃の練習の成果を発表されました。また、食の会場では「アジアの健康食フェア」ということで、アジア各国(中国・韓国・フィリピン・タイ・インドネシア)の方々による、国際色豊かな料理が大変な評判を呼んでいました。さらに、熊本農業高校の生徒さんたちが作られた野菜市と、その野菜を使った田園キッチンの天井も大好評。BIO SALUTEは「走る豚のサルシッチャ」とポロネーゼを出品いたしました。バザーコーナーでは明和学園・城南学園・済生会熊本福祉センター・カサチコ・トーホーフードサービスといった施設・企業が参加され、こちらも多くの人で賑わっていたようです。

また今年は、近隣のフジスポーツ熊本御幸店のフットサル場をお借りして、J2口アツノ熊本の選手によるキッズサッカー教室を開催。小学生限定でしたが、沢山の児童の皆さんに参加していただきました。そして、健康会場となったウェルネススクエア和楽では、スポーツチャレンジデイということで、2階トレーニング室を無料開放。地域の皆様に気持ち良く汗をかいていただきました。同時に健康チェック・健康相談・栄養相談・歯科相談など、皆様の健康についてのチェックやアドバイスを実施し、こちらも大変な盛況となっていたようです。

この「健康と食のまつり」の様子は、KAB(熊本朝日放送)の番組「駅前TV サタブラ」にて当日生中継されましたので、ご覧になった方も多かったのではないのでしょうか。

みゆきの里は、地域の皆様との交流と健康増進に貢献できるよう、来年度も「健康と食のまつり」を開催いたします。



Doctor's COLUMN ドクターズ コラム “日本一”の熊本の医療連携の中で



田島医院
院長

田島 和周 先生

田島医院

〒860-0053
熊本市田崎3-1-25
TEL:096-352-2433

今から15、6年前だったと思います。当時私は、大学院生だったのですが、御幸病院で外来診療をさせていただいた事があります。まだまだ駆け出しで、患者さんを拝見してわからないことがあると、隣の部屋で診察されている吉田先生によく相談させていただきました。私にとっては大変良い経験をさせていただいたと思いますが、皆様にご迷惑をおかけしたのではないかと、今思うと懐かしいような恥ずかしい気持ちになります。

私は、田崎町で「内科・神経内科」を標榜して開業しています。早いもので開業して10年が過ぎました。「神経内科」の看板を掲げていると、精神科や心療内科と間違われる方もいらっしゃるのですが、現在は、拝見している4~5割の患者さんが神経内科疾患の方です。学会などのホームページをご覧になって、片頭痛などの慢性の頭痛の治療で受診される方が増えています。大変うれしいのが、他の医療機関からのご紹介です。パーキンソン病や他の神経難病は、「腕の見せどころ!」と言う気持ちになるのですが、やはり個人開業医では限界があります。熊本の諸先輩方が築いてこられた、医療連携のおかげで、私もどうにか仕事をする事ができているのだと思います。

当院の脳卒中地域連携バスの第1例目は、御幸病院の川野先生からのご紹介でした。バスを持参された患者さんの治療や再発予防の意識も高く、充実したリハを行ってこられたのだらうと思います。またバスの成果も大きいでしょう。今後この「連携バス」が広く用いられていくことを期待しています。

私は、父を自宅で看取った経験から、開業時から、訪問診療を行っています。毎日午後から2、3軒のお宅におじゃましています。大学の神経内科に在籍していたときは、神経難病の患者さんを診ることが多かったのですが、自宅に帰りたくても、主治医が見つからずなかなか帰れないという患者さんが多かったのも、訪問診療に取り組み始めた理由の一つです。在宅医療事は何も知らなかったのですが、諸先輩方に教えていただきながら少しずつ経験を積んでいます。しかしどうしてもひとりよがりになりがちです。そこでいろいろな方に相談して、「訪問診療にとり組む医師の会」を作るべきということになり、2年前に「熊本在宅ドクターネット」を発足することができました。現在約50名の医師にご参加いただいています。

「熊本在宅ドクターネット」は、医師同士で、新しい治療法や対処法に関する相談を行ったり、勉強会を企画したりしています。またご依頼があれば、患者さんのお住まいにあわせて、主治医を決め、さらに、副主治医(主治医の対応できない場合の補佐)がバックアップとして控え、訪問診療の分担や万が一の際の緊急対応をおこなうシステムを作っています。

「在宅医療」というと「大変でしょう?」とよく尋ねられますが、準備をきちんとして、訪問看護ステーションや介護の皆様と連携することで、患者さんご家族だけでなく、スタッフの皆さんも充実した時間を過ごすことができます。多くの医療者に在宅医療に興味を持っていただければと思います。

熊本の医療連携は、「日本一」だと思います。その中で仕事をさせていただくと、とても幸せなことだと思っています。

短期集中連載 御幸病院リハビリテーション室 第1回

このコーナーでは、御幸病院リハビリテーション室の活動を皆さんにお伝えするため、今後4回にわたって連載記事を掲載する予定です。
今回の内容は「回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーション」です。

御幸病院の回復期リハビリテーション病棟は、南3病棟が42床、北3病棟が43床の、計85床です。この二つの病棟に、理学療法士16名、作業療法士14名、言語聴覚士5名が配置され、それぞれの患者様に応じた個別リハビリテーションを、365日体制で提供しています。



回復期リハビリテーション病棟では、充実した医療サービスを提供することはもちろん、患者様、ご家族のご要望の把握に努め早期の家庭復帰、社会復帰を目指し

たリハビリテーションサービスをご提供いたしております。

リハビリテーション病棟の機能を活かし、集中的なリハビリテーションと多職種間での連携によって多角面から患者様に取り組み、生活の場ですぐに役立つ日常生活指導の実施をおこなっています。

また、在宅生活での問題点の把握に努め、早期家屋調査、退院前家屋調査を適宜実施しております。その調査結果を活かし、患者様個々の在宅生活環境に合わせた個別リハビリテーションを実施しております。退院後は、医療法人博光会内の連携を活かし、訪問リハビリ等の在宅、施設系のサービスを提供することで途切れないリハビリテーションをご提供いたしております。

特集 和楽 WAKURU Wellness Square Vol.11



ウェルネススクエア和楽開館7周年 ありがとうキャンペーン

7月5・6・7日 記念イベント開催

ウェルネススクエア和楽は、この七月に開館七周年を迎えます。

和楽では開館七周年に合わせ、「ありがとうキャンペーン」と題しまして、七月五日(月)・六日(火)・七日(水)の三日間、特別企画のイベントや田園キッチンのスウィーツまつりなどを開催いたします。

健康長寿づくりの発信基地

みゆきの里の「健康長寿づくりの発信基地」の役割を担う和楽は、平成十五年七月に高齢者福祉センターとしてオープン。

平成二十年一月には、高齢者福祉センターとして全国で初めて、温泉利用プログラム型健康増進施設としての厚生労働大臣認定を受けました。

その後、特定保健指導機関と熊本市介護予防事業の受託施設として指定を受けるなど、「健康づくり推進施設」としての評価が高まっています。

年間の利用者20万人に

和楽では、みゆきの里内の保健・医療・福祉を有機的に連携させ、ハイレベルな機能を活かしたアクションプログラムを多数構築。健康増進に向けてのサポートをおこなっています。

その一つが、和楽二階のトレーニング室。保健師、管理栄養士・健康運動指導士・介護福祉士・社会福祉士などの専門職員を配置。トレーニングの指導をはじめ介護予防や肥満防止など、他の機関にみられない専門的な指導を行っています。昨年度の利用者は約一万七千人に上りました。

和楽のもう一つの魅力は何と言っても「田園キッチン」のバイキング料理。食を通じた健康づくりの場として、穀物と野菜中心のヘルシーバイキング料理を提供しています。昨年度は約五万六千人の方々に、健康食を味わっていただきました。

そして、地下一千メートルから湧出する和楽温泉。「癒し・リラクゼーション」の場として、大浴場やサウナ風呂、露天風呂を備えています。緑豊かな田園地帯を眺めながらの露天風呂はまた格別で、昨年度は約十万人近くの方々に、「癒しの世界」を満喫していただきました。

ウェルネススクエア和楽は次なる8周年に向け、皆様の健康づくりに貢献できますよう、従業員一同精進してまいります。

各事業についてのお問い合わせなどは、和楽総合受付(096)370-2244まで、お気軽にお尋ねください。

今後の行事予定 Event schedule

7月5～7日 和楽七夕コンサート

8月5日 みゆきの里夏祭り



担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	山浦	川野 長尾	吉田	担当医
午後	高木	本田 長尾	高野 和田山	高野 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週 水曜：午前 木曜：午後 金曜：午前

長尾名誉院長 外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。

吉田院長
津出診療部長
川野内科医長
本田医師 内科を中心として、種々の診療を担当します。

高野医師
高木医師
山浦医師

和田山医師 整形外科を担当します。

磯貝ホスピス医長 緩和ケア病棟を担当します。

鈴木医師

江頭医師 呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

田川医師 歯科を担当します。

●リハビリテーションの担当医：川野、吉田、津出、高木

●緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)
相談窓口：医療連携室

ニュースリリース News release

笛田神社改修工事 竣工祭

6月18日、笛田神社の改修工事の竣工を祝う、竣工祭が開催されました。祭式には笛田神社をはじめ、近隣の神社の氏子総代の方々のほか、みゆきの里からは富島会長、富島理事長、富島苑長ほか幹部職員が参列し、厳かに執り行われました。



笛田神社はみゆきの里から歩いて2分ほど、住宅地の中にあつて社に囲まれた神社です。市内中心部からみゆきの里へバスで移動する際、最寄りのバス停の一つが「笛田神社前」でもあります。もちろんみゆきの里との関わりも深く、みゆきの里の各施設の開設工事や改修工事の際は、笛田神社より神主さんをお招きし地鎮祭を執り行っていただいています。

笛田神社の社殿は江戸時代より残る歴史ある建築物なのですが、風を遮るものがなく、冬場は参拝の方々が寒い思いをされていました。今回の工事は拝殿と祝詞殿の改修を行い、風除けのサッシを付けるなどしたものです。工事に際してはみゆきの里より寄付が行われ、竣工祭では笛田神社から富島会長へ感謝状が贈られました。

御幸病院及びみゆきの里は今回のようなケースも含め、今後も様々なアプローチで地域の皆様の為に貢献していく予定です。



私たちは、地域の人々、利用者ご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師：岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟：20床
- 一般病棟：30床
- 回復期リハビリテーション病棟：85床
- 医療療養型病床：51床
- 併設：訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>